

炉辺談話(446)

著作配布

このたび、源流の会から新しい文献が 2 冊出版されました。

* 奉仕の原則と保全の法則

アーサー・フレデリック・シェルドン 1927 年著 田中毅 訳

エルドンの晩年の作品で、世界大恐慌を意識してか、奉仕と共に、財産やマンパワーの保全の必要性を強調した作品です。

新しいモットーとして *He profits most who serves and conserves best* を提唱しています。シェルドン最後の著作ということもあって、今まで自らが主張してきた要点が、簡潔にまとめられています。

この年に最愛の子息を失くしたこともあって、かなり暗いあとがきになっているのが特徴的です。

* シェルドンの森 ロータリーの真実を求めて 田中 毅 著作

シェルドンの奉仕理念に徹底的に準拠した、職業奉仕の解説書です。

シェルドンの奉仕理念は宗教でも倫理でもなく、純粋な経営学です。分かりやすく言えば、継続的な利益をもたらす常連客をいかにして確保するのかという学問です。

資本主義の弊害が大な問題になった 20 世紀の初頭に、資本主義の体制を維持しつつ、これらの弊害を緩和する経営学を標榜して、これを実践したシェルドンの奉仕理念に、立ち返る必要があります。

源流の会では、これらの文献を 1 冊 500 円で配布しています。

申込み先 <http://www.genryu.org/order/order.html>

2011.9.6